

の狭い思いをしていることがあるとすれば、学会の立場でどうしたらよいか進言でもしてみたらと思う。学会も長期計画その他で学会員の研究、研修等について考えておられるようであるが、若い会員の力を結集して新しい形で要求されつつある気象学、気象技術の成果の向上に

努めるためにも、学会はその大多数を占める地方会員のためにさらに積極的に取り組んでもらいたいと考える次第である。現在の気象庁では、業務として堂々とは研究を規定できない面があるのかも知れないようなので。

## 第9回 理工学における同位元素研究発表会

会 期 昭和47年4月13日(木)～15日(土)

会 場 国立教育会館(東京・虎の門)

### 発表論文

(1) 内容 それぞれの研究分野において、その専門的成果をうるにいたった同位元素および放射線の利用の技術に重点をおいた論文と、同位元素、放射線の利用の基礎となる研究論文とします。なお、得られた専門的成果の報告も差しつかえありません。

研究の内容には、少なくとも一部に未発表の部分が含まれていることを必要とします。

(2) 発表申込み区分 プログラム編成の便宜上、つぎのように申込み区分を設けます。

- ① 放射線照射のための線源および装置に関するもの
- ② 放射線化学その他照射効果に関するもの
- ③ ラジオグラフィに関するもの(装置に関するものを含む)
- ④ オートラジオグラフィに関するもの
- ⑤ 放射線利用計測機器の利用と開発に関するもの
- ⑥ 放射線利用機器に関するもの(エネルギーの利用、発光塗料なども含む)
- ⑦ トレーサーの利用に関するもの(安定同位元素も含む)
- ⑧ 分析に関するもの(安定同位元素も含む)
- ⑨ 製造、分離、精製に関するもの(安定同位元素も含む)
- ⑩ 化合物の合成、標識化に関するもの(安定同位元素も含む)
- ⑪ 放射線測定法および測定器に関するもの
- ⑫ 安全取扱に関するもの(遮蔽、施設、設備、器具、健康管理なども含む)
- ⑬ 廃棄物処理、汚染除去に関するもの
- ⑭ 地球科学、宇宙科学およびラジオエコロジーに関

するもの(安定同位元素も含む)

⑮ その他

(3) 発表時間 1件の発表15分以内の予定

発表者の資格 発表申込者が所属する主催学協会の年会(大会)等の規定または慣例に従う。

発表申込み 所定の申込書(1件1通)によりお申し込み下さい。所定の申込書は下記あて請求して下さい。

113 東京都文京区本駒込二丁目28番45号

日本アイソトープ協会内

理工学における同位元素研究発表会運営委員会

電話 東京(03)946-7111(代表)

発表申込み締切 昭和47年1月31日(月)必着

講演要旨 講演要旨集を発行します。発表申込みがあり次第、所定の原稿用紙(1,400字程度)をお送りします。

講演要旨原稿締切 昭和47年2月29日(火)必着

### その他

(1) この研究発表会の運営は、主催学協会より選出された各1名の委員で構成された運営委員会において行ないます。

(2) フルペーパーの報文集は特に発行しません。

なお、日本アイソトープ協会の学術機関誌“RADIOISOTOPES”にはこの研究発表会の発表論文にかぎり、同協会会員外でも投稿することができます。

(3) つぎのいずれかに該当する場合には発表をお断りしますから、ご注意下さい。

i) 講演要旨に記述された内容が本研究発表会の趣旨に合致すると認められない場合。

ii) 発表者の資格が、所属主催学協会の規定または慣例に合致しない場合。

iii) 期日までに講演要旨原稿が提出されなかった場合

共同主催者 日本気象学会他47学協会